

2 地理歴史・公民

学校番号

208

令和3年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	現代の世界史 改訂版 (山川出版)						
副教材等	最新世界史図説タペストリー 十八訂版 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・近現代の世界の形成過程について学習する。
- ・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・歴史を背景とした世界の国の諸事情や偉人の生き方を学び、現在の日本の在り方、さらにはこれからの自分の生き方を考える。

2 学習の到達目標

- ・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
- ・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	定期考査 授業態度 提出課題	定期考査 授業態度 提出課題	定期考査 授業態度 提出課題	定期考査 授業態度 提出課題
	〔主題学習〕	〔主題学習〕	〔主題学習〕	〔主題学習〕
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	名 単 元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価 方法
			a	b	C	d		
1 学 期	諸 地 域 世 界 の 特 質	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界 ・南アジア、東南アジア世界 ・西アジア世界 ・ヨーロッパ世界 	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 東アジアの特質に対する関心を高め、中国の皇帝政治や北方民族との関係、東アジアの国際秩序について理解している。 b: 南アジアの多様性について関心を高め、南アジアの宗教に関する様々な資料を活用して、各宗教が及ぼした影響について考察・理解している。東南アジアにおける多様な社会・文化の形成について把握し、基本的知識を身に付けている。 c: 西アジアで古くから文明が栄えた背景に関心を高め、オリエント・イラン文明・イスラームについて日本や各地域への影響を考察し、その結果を適切に理解する。 d: ギリシア・ローマ文明、キリスト教がヨーロッパ世界の形成に与えた影響について把握できている。	定期考査 授業態度 提出課題
	大航海時代・アジア諸国の繁栄・近世ヨーロッパの成長	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル帝国の形成と解体 ・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成 	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 設定された時代の諸地域の特徴を見だし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 提出課題

2 学期	近代の欧米社会・ヨーロッパの進出とアジア	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化 	○		○	○	<p>a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見だし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 授業態度 提出課題
	帝国主義とアジアの民族運動・二つの世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦 	○		○	○	<p>a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:20 世紀という時代の特徴、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 授業態度 提出課題

3 学期	冷戦の時代グローバル化する世界	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊 ・現代の世界	○ ○	○ ○	○ ○	a: 第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 提出課題
------	-----------------	--	--------	--------	--------	---	----------------------

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用 of 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。